



編集 SEF事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のこぼ

理事 小栗貴史

東京オリンピックまで541日、パラリンピックまで573日(何れも1/30現在)となったが、東京オリンピックのコンセプトは(1)全員が自己ベスト、(2)多様性と調和、(3)未来への継承ということである。そこで競技から少し別の方を向いてみると『都市鉱山から作る、みんなのメダルプロジェクト』がある。メダルは直径70~120mm、厚さ3~10mm、重さ500~800gで5000個要るのだそうだ。(因みに金メダルは銀製で6gの純金で金張りだそうだ。材料は不要になった小型家電品、パソコン、スマホ等から回収する計画で、該当するものは今の日本の都市鉱山には65万トン、お金にして844億円が在るとの試算だそうだ。もう一つエコの観点からは大会中のカーボンオフセットへの取り組みがある。省エネ会場や再生可能エネルギーによる取り組みの他に直接的にCO2などが増量しない地域においても省エネに取り組んでもらい、これをクレジットとして相殺することで省エネ運営とするのだそうだ。取組んだ地域は、オリンピック・パラリンピック後は省エネが定着すると言う考え方だ。今後の動きに注目して行きたいものだ。

1月度理事会より (第184回 1月22日)

事務局

1. 平成31年2月度会員交流会の開催	→可決承認	7. 平成30年12月度会計収支報告	→報告了承
2. 1月16日の理事検討会議事録	→可決承認	8. 旧事務所の郵便受けの撤去並びに転送届の手続き終了	→報告了承
3. 人形町の旧事務所の契約	→可決承認	9. 平成30年分支払調書	→報告了承
4. 「J-SCORE」との覚書の件	→継続審議	10. 業務支援事業部17期3Qの活動報告	→報告了承
5. 平成30年度事業成行期末予想報告	→報告了承		
6. 第18期(2019年度)年間スケジュール	→報告了承		

事業報告 (コミュニケーション研究会)

担当理事 長本啓壯

研究員6名(小泉、佐立、玉木、平田、松井、長本)で基本的には毎月1回のペースで研究会を実施していますが、今年度は1月23日に東京・八重洲の居酒屋で新年会を開催し、新たなスタートを切りました。17期は第8次テーマとして「日本人のこころ」とし、各研究員がそれぞれの考えを論文、エッセイ等自由な発想で纏めることにしています。ただ、このテーマは取りつき易いようで反面切り口が多々あり、各自纏めるのになかなか苦労しているのが現状です。現在、第8次テーマの完成予定は17期中、今年3月末で、成果物は例年通り小冊子に印刷して会員に配布します。

最大の課題は冒頭の研究員6名の平均年齢は80歳に近く、この研究会の成り行きを真摯に考えなければならないことではないでしょうか。

SEFサロン (第109回報告・第110回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第109回:報告 》 1月22日実施

演題:「植物工場」

講師:大山敏雄氏 (株)アイ・エム・エー技術顧問 元キューピー(株)

今、コンビニ用のレタス工場の話題であるとか第3次の植物工場のブームとも言われていますが、長年にわたり「植物工場」の研究・プロジェクトに関わってこられた講師から、失敗例を含む実務経験からのお話がありました。技術的には多くの植物が工場生産可能とのことですが、採算の視点ではかなり大型でないと難しいとのことでしたが、高齢者の働く場所の提供、無農薬、特定の病気の方のための野菜、漢方薬等の高額商品の開発等の付加価値には活路があるとのこと。出席の方からの質問も多く、有意義なご講演でした。

《 第110回:案内 》

日時:2019年3月20日(水) 18時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」

演題:「未定」 講師:未定

月度会員動向

事務局

会員入退会 入退会者なし	1月末日現在の会員数 正会員 : 28名、準会員 : 41名、賛助会員 : 4社
-----------------	---

